

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外 Paget 病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Metastatic extramammary Paget's disease: dramatic response to combined modality treatment	
	論文の日本語タイトル	P C Q 1 2 - 5	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称		
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ V ）	
	Pubmed ID	2836660	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Surg Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	38	
	号	1	
	ページ	38-44	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原文言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1988 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Balducci L	Mississippi Medical Center
その他著者 1		Athar M	同上
その他著者 2		Smith GF	同上
その他著者 3		Khansur T	同上
その他著者 4		McKenzie D	同上
その他著者 5		Crawford ED	同上
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	転移を有する陰嚢原発 Paget 病に対し集学的治療を施行した症例の経過を報告する。	
	研究デザイン	症例報告	
	セッティング	Mississippi Medical Center	
	対象者	陰嚢原発の Paget 病を有する患者（60 歳男性）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （1）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （4）	
	介入（要因曝露）	局所切除＋鼠径リンパ節摘出術 骨転移および腹部リンパ節転移を確認後 疼痛緩和のための放射線療法（48.5 Gy） 化学療法：MMC、5FU	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	腫瘍の縮小	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	2	臨床経過	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	腹部リンパ節転移は化学療法後に消失。8 か月後に肝転移、肺転移が生じ死亡。	
	結論	短期的には化学療法や放射線療法は転移性の Paget 病に有用。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人	

	レビュワーコメント	レベル V
--	-----------	-------